

## Stage8

### Sam's Flood Plan

#### サムの洪水プラン

作・サイモン・チェシャ

絵・ハビエル・ホーキン

#### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

表紙と裏表紙を見てください。ページをパラパラとめくって絵を見ましょう。次のような質問をしてみましょう。

- ・これは何についての本だと思いますか？ なぜ洪水が起こるかもしれないのでしょうか？
  - ・サムはどんな男の子だと思いますか？ お話を読んだあとで意見を比べてみてもいいかもしれません。読む前と合っていましたか？
  - ・これはどんな種類の本になると思いますか？
- 自分のペースで読むように、お子さんに言ってあげてください。

#### <ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

worried 心配した

endangered 絶滅のおそれのある

library 図書館

crawled のろのろ進んだ

electricity 電気

garage ガレージ

trickled ちょろちょろ流れた

wrecked こわれた

[p. 1]

サムの洪水プラン

作・サイモン・チェシャ

絵・ハビエル・ホーキン

[p.2]

サムは心配ばかりしている男の子でした。

学校でのことを心配していました。

家でのことを心配していました。

絶滅しそうな動物のことや地球温暖化のことを心配していました。

[p.3]

「そんなに心配しないの、サム」とお母さんが言いました。「心配したってなにも変わらないのよ」

サムはお母さんの言っていることは正しいとわかっていたのですが、とにかく心配なのでした。

[p.4]

サムの心配ごとのひとつは川のことでした。その川はサムの家の裏手にある畑を流れていました。

サムは川が増水して、洪水になることを心配しているのです。

[p.5]

サムはテレビで洪水のニュースを見ました。家や通りが泥水であふれていました。川以上にトムを心配させるものはありませんでした。雨が降るたびに、サムは心配になりました。

<生中継>

[p.6]

サムは学校の図書館で洪水に関する本を借りて読みました。また、インターネットのページもいくつか読みました。そして洪水が起こったときにどうすればよいかを知りました。

<地球を救え>

<洪水時の行動>

[p.7]

<洪水時の行動>

- ・水や電力の供給を断つこと。
- ・台所の流しに栓をして、汚い水が下水管を上がってこないようにすること。
- ・窓やドアに目張りをして、水の浸入を防ぐこと。
- ・ものを上の階に移して、水が入ってきても被害を受けないようにすること。
- ・重要なニュースに備えて、ラジオを聞くこと。

そこで、サムは洪水時の計画を立てました。

[p.8]

サムの洪水プラン

わが家

水と電力の供給を断つ。

台所の流しに栓をする。

[p.9]

窓とドアに目張りをする。

ものを上の階に移す。

ニュースを聞く。

[p.10]

夏のある日、バケツをひっくり返したような雨が降ってきました。雨は降り続き、何日もやみませんでした。川の水位が上昇しはじめました。

「心配ないわ、サム」とお母さんは言いました。「雨はそのうちやむから」

[p.11]

雨はやみませんでした。川は増水しました。水が畑をとおって、ゆっくり近づいてきました。水は家のほうへ広がってくるのです。

サムはとても心配でした。洪水プランのコピーを通りの家々に配りました。

[p.12]

やがて、水がサムの家の庭までせまってきました。

「こんなことになるとは思わなかった！」とお父さんは叫びました。  
「わたしたち、どうするの？」とお母さんが泣き声を上げました。

[p.13]

サムはどうすればよいかわかっていました。洪水プランを実行に移す時がきたのです！

[p.14]

サムはお母さんとお父さんにやるべきことを教えました。

- ①水、電気、ガスを止める。
- ②流しに栓をする。
- ③食料やこまごまとしたものを上の階に移す。

[p.15]

雨はまだやみませんでした。水はサムの家さらに近づいてきました。

「心配ないよ」とサムは両親に言いました。「ぼくの洪水プランに従っていれば、水は入ってこないから」

[p.16]

次にサムは両親に教えました：

- ①ガレージから木の板を持ってくる。
- ②窓とドアに目張りをする。出入りに木の板をしっかりと打ちつける。
- ③重要なニュースに備えてラジオをつける。

お母さんとお父さんは、サムに言われたとおりにしました。

[p.17]

まもなく、洪水が家のところまできました。壁や目張りをしたドアのところまで水が上がってきました。ドアを抜けて、水がちょっと入ってきました。お母さんはモップで床をふきました。でも、水はそれ以外にどこからも入ってきませんでした。

ようやく、雨がやみました。

[p.18]

次の日、水位が下がりはじめました。やがて、水は畑から引いていきました。

サムとお母さんとお父さんは外へ出て、通りを見まわしました。浸水している家は1軒もありませんでした。水は閉め出されていました——サムの洪水プランのおかげでした。

[p.19]

「サム！」とみんなが呼びかけました。「きみはヒーローだよ！ きみのプランがなかったら、家は水びたしでめちゃくちゃになるところだったな！」

[p.20]

「だから、ぼくが心配するのは正しかったんだよ」とサムは言って、ニコッと笑いました。

「そうじゃないわ」とお母さんが言いました。「前もって考えておくことが正しかったのよ。ただ心配しているだけだったら、わたしたちの家を救えなかったわ。あなたは落ち着いて賢明に行動して、自分の心配に立ち向かったのよ」

[p.21]

サムはもう洪水の心配をしませんでした。どうすればいいかわかっていました。たぶん、こんなふうにしてほかのあらゆる心配ごとにも立ち向かうことができるでしょう。

[p.22-23]

ストーリーをもういちど話してみよう

[p.24]

洪水データ

- ・1953 年、大洪水によって、ロンドン近郊で 300 人が犠牲となりました。その後、洪水の被害から守るために、テムズ川にテムズ・バリアーが設けられました。
- ・地球温暖化によって、さらに多くの洪水が起こる可能性があると言われていると科学者たちは考えています。
- ・水位 5 センチの洪水は、自動車も流してしまいます！
- ・モンスーンと呼ばれる大雨は、毎年、アジアの各地で洪水を引き起こしています。

ジョーク

Q: 海を半分に切るには、どうする？

A: シーソー (sea saw) を使う。(saw: のこぎり)

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう:

- ・サムは何を心配してたのかな？ その心配ごとに対してサムは何をしたらろう？
- ・何か心配ごとがあるときはどうする？ それで安心できる？
- ・この本が気に入った？ その理由は？

この話をまた読んでみるよう、お子さんにすすめましょう。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

お子さんに何かのプランを書いてもらうのもいいかもしれません——日帰りの旅行のように楽しいプランです！ お子さんと一緒に、そのプランを調べてみましょう。何が必要でしょうか？ そこまで行くのに、どのくらい時間がかかるでしょうか？